

熊本大学広報誌

# 熊大通信

vol. 73  
2019 SUMMER

特集Ⅰ

## 未来との対話

AIが変える未来を熊本大学から

特集Ⅱ

新設!現代文化資源学コース徹底解剖!



Takumi, m.



## 熊大生、拓く。

海へ。— 熊本大学体育会ダイビング部「世界中の海で潜れる自立したダイバー」を目指すダイビング部。プールでの練習や天草での海洋講習を通して、ダイビングスキルや安全潜水の習得に励んでいる。マスクやフィンを付けて泳ぐフリッパー競技では、全国大会7連覇中！

また、海の素晴らしさを多くの人に伝えるため、自分たちで撮影した水中写真の展示会や、水中写真家の講演会なども開催している。

撮影者：坂田礼司(ダイビング部名誉監督)  
撮影地：西表島(2015年春合宿)

## CONTENTS

- 03 特集Ⅰ 未来との対話  
AIが変える未来を熊本大学から
- 11 研究室探訪 知れば知るほどおもしろい  
生き物の性決定メカニズム  
理学部 生物学コース  
北野 健 准教授
- 13 特集Ⅱ 新設！現代文化資源学コース徹底解剖！
- 17 卒業生ジャーナル
- 19 KUMADAI TOPICS
- 22 熊本大学基金よりお知らせ

表紙 / 【原画】松永 拓己 / 大学院教育学研究科 准教授  
文法学部本館前のアゴラ広場にて、読書する学生さん達。

### 熊本大学広報誌 熊大通信 vol.73

\*皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

【発行】国立大学法人熊本大学  
〒860-8555 熊本市中心区黒髪 2-39-1  
Tel.096-342-3119 Fax.096-342-3110  
sos-koho@jimu.kumamoto-u.ac.jp

【編集】熊大通信編集委員会  
鷺見 直哉 / 委員長 大学院先端科学研究部(理学系)  
安村 明 / 大学院人文社会科学研究所(文学系)  
松永 拓己 / 大学院教育学研究科  
河野憲一郎 / 大学院人文社会科学研究所(法学系)  
一柳 錦平 / 大学院先端科学研究部(理学系)  
尼崎 太樹 / 大学院先端科学研究部(工学系)  
永田まなみ / 大学院生命科学研究部(保健学系)  
首藤 剛 / 大学院生命科学研究部(薬学系)  
立山 三雄 / 総務部総務課広報戦略室長

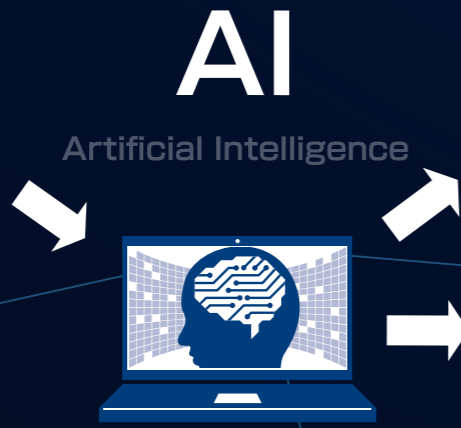
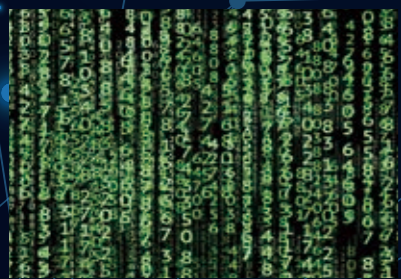
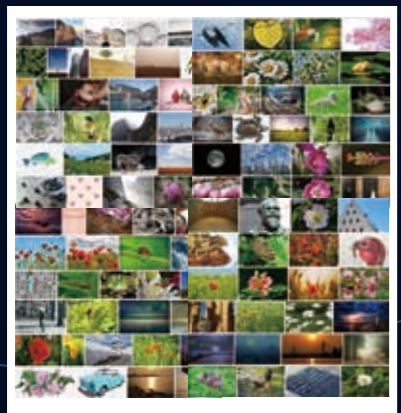
【制作】株式会社 談

## AI第3次ブームの基礎知識「AIって？」

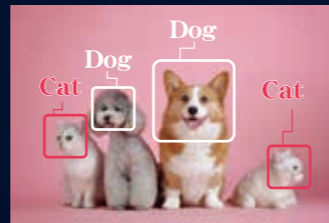
AIとは  
AIとはArtificial Intelligence(略して「人工知能」と訳されています。人間の脳が行っている、言葉を理解したり、論理的な推論を行ったり、経験から学習したりする作業を、コンピュータ上で実行するプログラムやシステムを指します。

現在、最新のAIはディープラーニングという手法で、多くの情報から特徴を見つけ出し、「分類」や「予測」、新たなデータの「生成」などができるようになりました。これにより、映像の中から特定の人の顔を判別したり、音声から人の感情を推測したり、医療用画像から病気を発見し出すなど、未来の活用について、さまざまな可能性が生まれています。

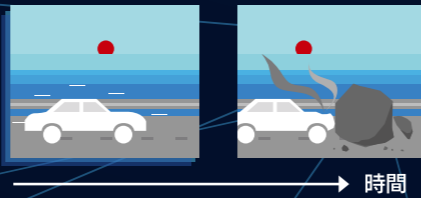
### ビッグデータを用いた学習



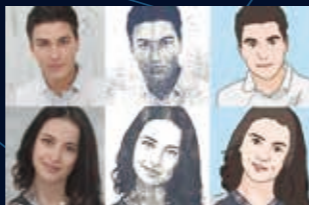
### 人間と同じく対象物を分類



### 未来の画像を予測して危険を回避



### 新しいデータを生成



## AI第3次ブームの基礎知識「ディープラーニング」

AIを飛躍的に進化させた「ディープラーニング」  
AIは、人間の脳が持つニューロン(神経細胞)とその細胞同士のつながりをモデル化したニューラルネットワークを持つています。第2次ブームまでのAIにおけるニューラルネットワークでは、入力層、中間層、出力層と呼ばれる3層が、情報を伝達し結果を導いていました。ただし、3層では応用に限界があることから、層を増やす試みがなされました。ところが単に層を増やしただけでは望む正解が得られないことが多く発生。その後、新たな学習方法により中間層を増やすことが可能になり、現在の第3次AIブームが巻き起こりました。このように、ニューラルネットワークの中間層を深くした学習方法が「ディープラーニング」です。

ディープラーニングによってAIは、分類、予測、生成という新しい能力を獲得。多方面に活用されることが期待されています。

特集 |

# 未来との対話

## AIが変える未来を熊本大学から

AIの第3次ブームと言われる今、1980年代の第2次ブームよりも大きく進歩したAIが私たちの未来を大きく変えようとしています。

そんな最新のAI技術を駆使し、ビッグデータ活用・分析など、様々な工学研究を進めているのが熊本大学工学部。最先端のコンピュータアーキテクチャーを支えているのは、長い歴史を誇る工学部に蓄積された知見と技術、そして、常に新しいものと挑む「創造力」です。



日本の新産業分野としても注目  
AIエッジコンピューティング

飯田 全広 教授

災害や環境予測の新時代へ  
水文気象研究と AI 研究がタッグ

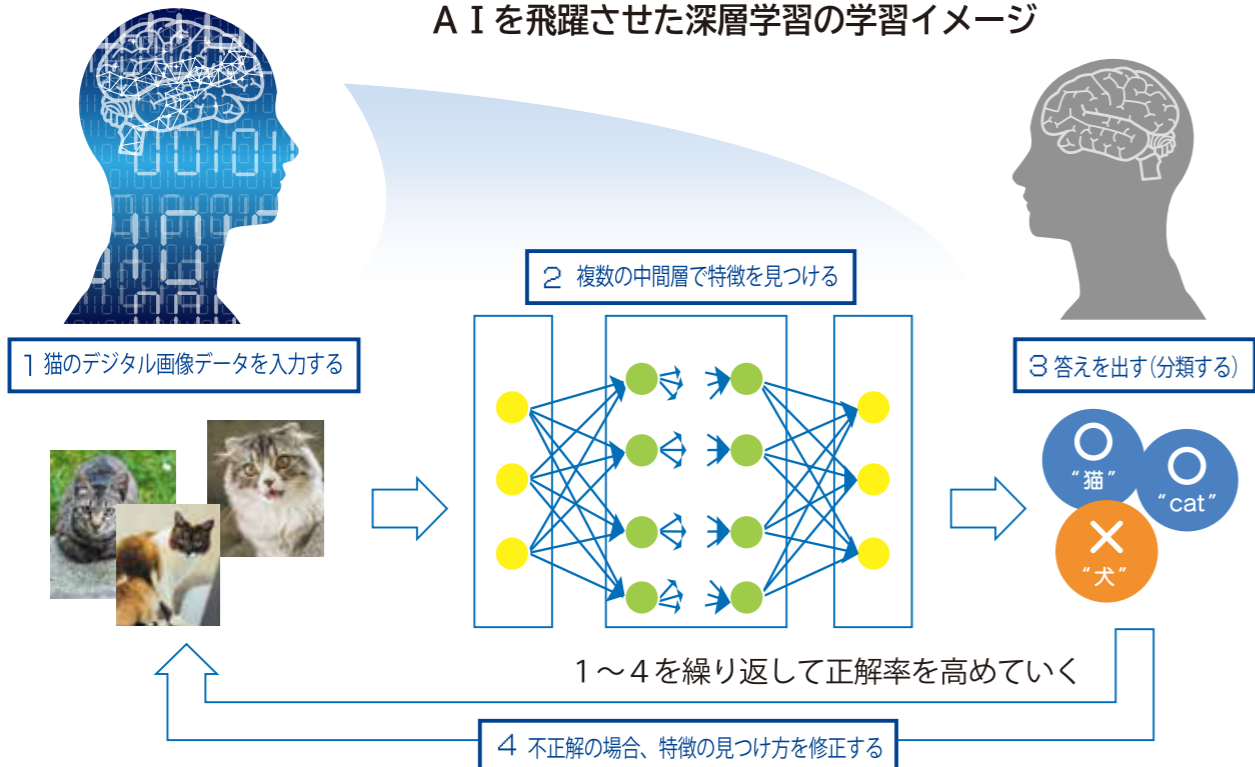
木山 真人 助教 石田 桂 助教 尼崎 太樹 准教授



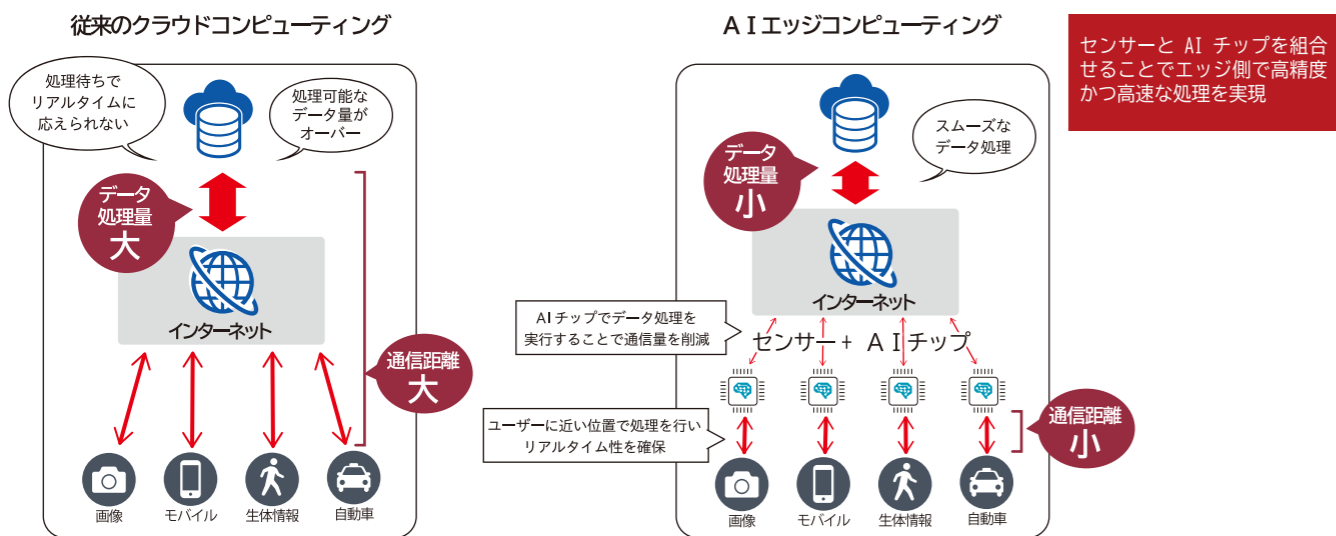
人の音声トーンから感情を分析  
コールセンター業務をサポート

有次 正義 教授

ディープラーニング  
AIを飛躍させた深層学習の学習イメージ



クラウドコンピューティングとAIEッジコンピューティングの違い



知っておきたい基礎用語

**エッジ** エッジとは、ネットワーク内のユーザー側の端末のこと。モバイル機器やセンサーなどの端末側でデータ処理をすることをエッジコンピューティングという。

**FPGA** Field Programmable Gate Array の略。システム設計者が、自分で設計した回路に書き換えることができる集積回路。薄型液晶・有機ELテレビ、HDDレコーダーなどにも使われている。



AIの新しい可能性を学生と共に探っていく 飯田研究室

日本の新産業分野としても注目  
AIEッジコンピューティング

ディープラーニングによって劇的に進歩したAI技術を、最先端の集積回路技術で身近なモノに組み込む。そんな知的なデバイスで、日本の新産業になり得る工学研究を行っているのが飯田全広教授です。

視覚を得て  
AIは飛躍的に進化

AIを大きく進歩させたディープラーニングは、AIに見ているものを分類できる特徴表現学習能力を与えました。代表的な例が、2012年にGoogleが行ったAIのネコ認識。1千万枚のネコの画像を見せられたAIが、人に特徴を教えられなくてもネコを認識できたというものです。「つまり、特徴量をコンピュータ自らが見つけられる」とが、以前のAIと現在のAIの大きな違いです」と飯田教授。

日本唯一の研究を基に  
新しいAIの可能性を探る

そんなAI技術を使い飯田教授が研究しているのが、AIEッジコンピューティングです。「AIサービスの一部を、サーバー側ではなく、末端であるエッジで実行します。例えば人感センサーは、人がいるかないかを判断し電気をつけたり消したりします。そのデータをサーバーに送って解析すれば、そこに動かない人がいるという判断はできるでしょう。でも、エッジ自身が人の動きを認識し、知らせることができたほうがもっと効率がいいですよね。しかしそれには、エッジ側の処理能力の向上が必要で、コストも高くなり、エッジ側の消費電力が増えるなどの課

題があります。「それらを解決できるのが、ディープラーニングで学習済みのAIチップです。サーバー側のAIチップは、アメリカの企業にほぼ独占されていますが、ものづくりが得意な日本らしさを活かし、私たちはエッジ側に力を注ぐということ。国を挙げて、新しい産業の確立を目指しています」。

飯田教授はこれまで20年近くにわたりFPGAとよばれるハードウェアの研究を行ってきました。「通常のハードウェアは一度作ったら機能は固定ですが、FPGAは必要に応じてユーザーがその機能を書き換えることができます。熊本大学は世界でも数少ない研究拠点の一つ。AIチップも様々な用途に対応させるため、機能を書き換えられることが重要です。FPGAで培った研究技術をフルに使えることが、現在のAI研究を

可能にしています。長い歴史を誇る熊本大学工学部で、コンピュータアーキテクチャに関するバックグラウンドがあるからこそこの研究だと話してくれました。AIが人の仕事を奪うのでは、と不安視する声もありますが、「人間が持つ様々な能力のすべてをAIが得られるとは思いません。ただ、やると手間やお金がかかる知的作業をAIがやってくれたり、人間ができないことが可能になればうれしい。そんな気持ちで研究を続けています」。



大学院先端科学研究部 (工学系)

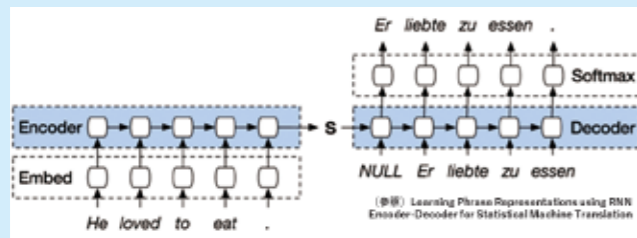
いだ まさひろ  
飯田 全広 教授

専門は計算機アーキテクチャ、VLSI設計手法、システムソフトウェアと、ハードウェアとソフトウェアの融合領域など。

従来の用途

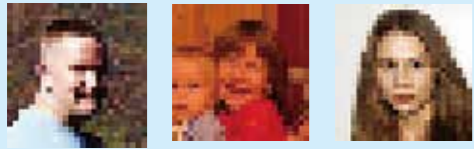
水文気象分野での用途

言語翻訳時の文脈予測

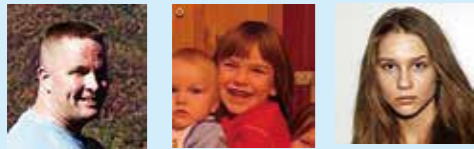


高解像度化技術

低解像度の画像 (入力)

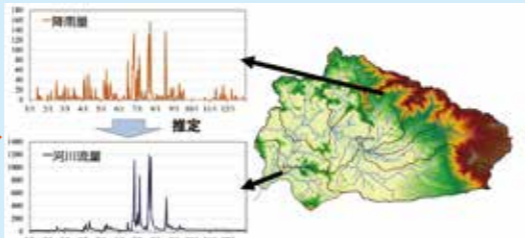


高解像度の画像 (出力)



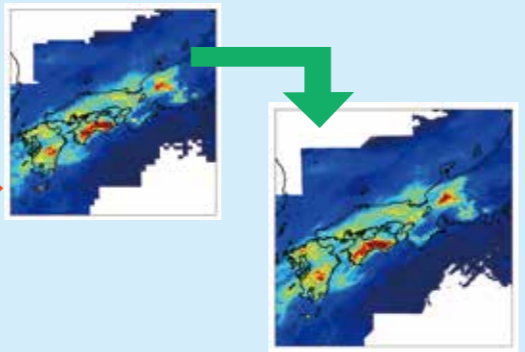
人工知能技術の水文気象分野への応用。降水量の時系列予測には自然言語処理の文脈予測(上)が、降水量の高解像度化に画像の高解像度化技術(下)が応用されている

時系列モデリング

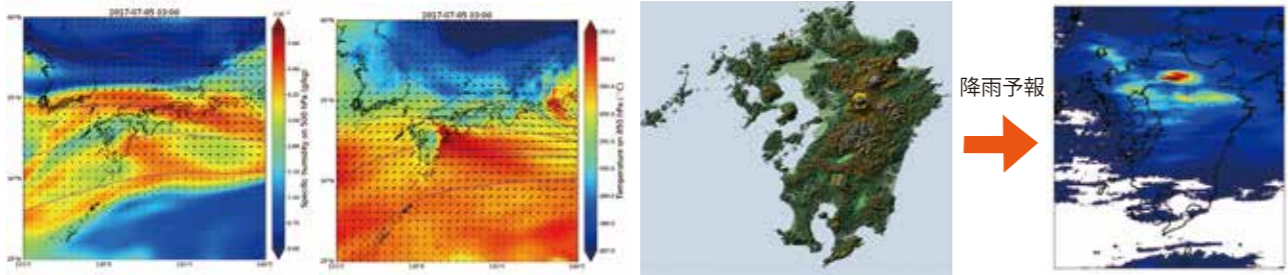


\* 国土地理院・数値標高モデルにより作成

降雨データなどの高精度化



大気中水分量 + 気温 + 地形情報 など



大気中の水分量と気温をAI技術を用いて新たに降水データを生成する。この際、地形情報を加味することで、予測精度は各段に向上する

知っておきたい基礎用語

水文気象学

水文気象学は地球上の水循環について研究する地球科学の分野。気象学は、大気圏で起こる気象現象を研究する分野。この2つの中間に位置する水文気象学は、降水、地下水、地表水(河川など)、蒸発散など水の循環について研究する。大気中の水循環も含めて解析することで、水資源の開発、利用、洪水制御などに活用されている。



異なる研究分野の専門家が集まった学際的取組みであることもこの研究の特徴

# 災害や環境予測の新時代へ 水文気象研究とAI研究がタッグ

水文気象の専門家である石田桂助教と、AIの専門家である尼崎太樹准教授と木山真人助教の3人で取り組んでいるのが、高精度の「予測」と「生成」というAIの新たな能力を活用した研究です。3人がタッグを組み、様々なチャレンジが始まっています。



大学院先端科学研究部 (工学系)

石田 桂 助教 (右)

専門は、水文気象学、気候変化、洪水・渇水、水資源。アジアやアメリカの気候変化について精力的に論文を発表している。

大学院先端科学研究部 (工学系)

木山 真人 助教 (中)

専門は、プログラミング言語処理系。近年は深層学習のライブラリについて研究を行っている。

大学院先端科学研究部 (工学系)

尼崎 太樹 准教授 (左)

専門は機械学習、計算機システム。近年は深層学習に力を入れて研究を行っている。

今までなかった予測精度をAIが可能にする

石田助教が専門とする水文気象は、地球上の水の循環を気象も含めて研究する学問です。「これまで地球温暖化などの研究を進めるうえで収集・生成してきた水や大気に関する膨大なデータがあります。これを活かしたいと考えていた時にディープラーニングの存在を知りました」と石田助教。ディープラーニングの専門家である尼崎准教授、木山助教と学際的グループであり、サーチュニットを組織。様々な研究をスタートさせようとしています。「目指していることのひとつが洪水予測。これまでの物理モデルだけでなく、ディープラーニングを取り入れることで、かなり予測精度が上がります。予測精度が上がればより確実な避難判断に活かせるし、防災に

対しても、例えば堤防を10cm上げるのか20cm上げるのか、費用に大差があることへの判断にも役立ちます」。そのほか、ディープラーニングで可能になるのが高解像度化だと石田助教。現在の計算モデルでは細かくても約5km四方ごとの予測データしか得られず、その場合、山間地など、地形によつて1km以内でも極端に違う天候となる場所の気象予測は困難です。「ディープラーニングによる高解像度化によつて、今は予測できない部分に対し、起こりうることにより近いものを予測できる可能性が高まります」。

各分野の最先端が結びつき世界最先端の研究に

「高解像度は、現時点で抜けているところにデータを入れてやるということ。多くのデータがあれば、ディープラーニングで興味深いことが得られると考えています」と話すのは尼崎准教授です。共同研究では、石田助教が持つ膨大なデータが活かされている部分に入ります。例えば大気モデルの論文を、一般的に10回から20回の計算で書くところ「信頼性を上げるため、3万回から4万回の計算モデルを走らせて書くこともある」という石田助教。「誰もやらない面倒なことをやる」という研究姿勢で得られたビッグデータが、この研究の基礎となっています。「AIの機械学習にはデータが大量にあることが重要。いろんなデー

タがあることで法則性を出せるからです」と話すのは木山助教です。「そうすると、AIが出した結果も巨大になり、それは、石田助教という水文気象の専門家でなければ検証できません。その検証の上で、ディープラーニングの専門家である僕たちが次の方法を考え、AIの能力をさらに上げていくわけです」。石田助教の専門と、尼崎准教授、木山助教の専門が結びつくことで、水文気象学とAI両方がさらに進化していきます。「重要なのは、各分野の最先端をマージ(融合)すること。それが世界最先端の研究を可能にします。ディープラーニングの発展はすさまじい。専門家である尼崎准教授と木山助教がいるからできる研究です」と石田助教。それぞれの専門家が在籍する熊本大学だからこそ取り組める新しい挑戦だと、3人が声を揃えて話してくれました。

# 人の音声トーンから感情を分析 コールセンター業務をサポート

AIを活用し、音声データを用いた人の音声感情認識技術を研究しているのが、有次正義教授です。コールセンターを運営するCENTRIC株式会社との共同研究が進められています。

## お客様の感情を知らせ オペレーターを手助け

物やサービスの販売などを電話で受け付けるコールセンターでは、電話でのやり取りにおいて、お客様がどれだけ満足したかを知ることが重要です。お客様の音声进行分析し、ストレスを感じている、怒っている、幸せ、悲しい、など20種類くらいの感情に分け、それぞれに程度を表すスコアを付けるソフトで満足度を判定していたのが、コールセンターを運営する企業、CENTRICです。「ただそれは、全体的に見て満足度のスコアが高いとか、平均と比べると低い、などしか見えない。そこで、得られた音声データをさらに解析し、業務に役立たせることができないか、と依頼を受けたのが共同研究の始まりです」と有次教授。

お客様が発する「言葉の内容」ではなく、「トーン」で判断し分析するのが、この研究の特徴の一つです。

有次教授が所属する先端工学第四分野は、現在、その活用に期待が集まるビッグデータを扱う分野。「ビッグデータは以前からあります。ただ、データをいったん保存して、そこから欲しいものをどうやって取ってくるのか、という以前の研究に対し、現在は、とめどなく流れてくるデータを、貯める前に処理して計算し活用する、という考えのもとで扱われています」と有次教授。「ここに、リアルタイムに処理し計算することを可能にした今のAI技術が活かされています。コールセンターの音声による感情分析も、後から振り返って「怒っていた」と分かる、というのではなく、「オペレーターがお客様と話

をしながら、お客様が今、怒りそうだな、ストレスを感じ始めた、満足している、などと把握でき、オペレーター業務の手助けになる仕組みを作りたいと考えています」と話します。

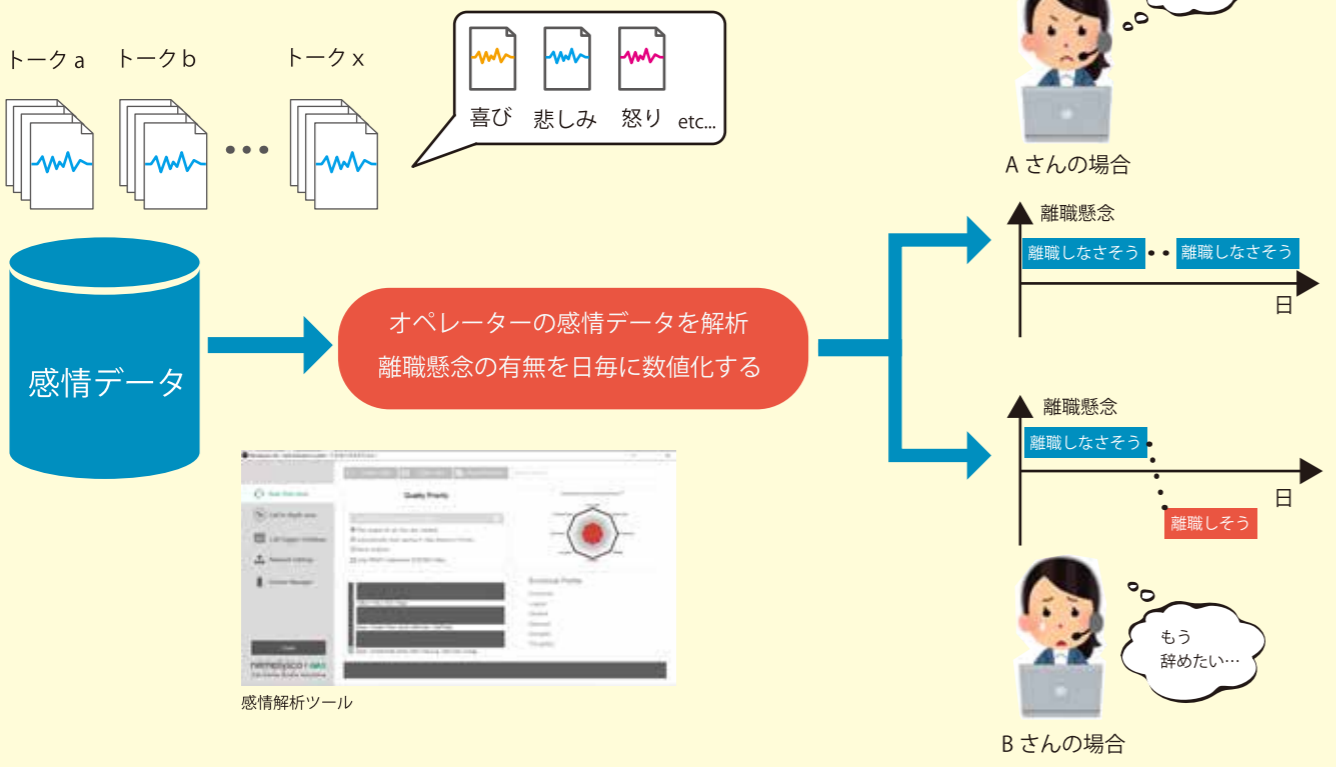
## オペレーターのストレス度も知り 離職防止につなげる

満足度の把握のほかに、例えば商品の都度購入と定期購入がある場合、販売企業が増やしたいのは定期購入であり、「お客様の音声トーンによって、どのタイミングで都度購入や定期購入を決めているのか、その判断ができないか」という研究も行っています。また、オペレーターの音声トーンも解析し、オペレーター側のストレス傾向を掴む、という研究も進めている有次教授。オペレーターへの適切なサポートにつなげれば、離職率が高いと言われるコール

センターの課題も解決。

とはいえ、データの対象が人間の感情なので、揺れ幅があり難しい部分もあります。しかし、店頭販売やテレビショッピングで驚異的な売り上げを見せるような人が持つ、自分自身も気づいていないような「売れる法則」を、データ分析から取り出す、というような研究も興味深いと有次教授。「大学のエンジニアリング研究は、職人そのものを作るのではなくて、職人の技を、機械にサポートしてもらうことで誰でもできるようにする、というものです。私たちはそれを目指して研究しています」。

## コールセンターでの音声データ解析の例



## 知っておきたい基礎用語

### ビッグデータ

量だけでなく、さまざまな種類と形式を持つデータのこと。データ量、データの種類の、データの発生頻度・更新頻度が重要な要素。スマートフォンを通して得られる位置情報やホームページの閲覧情報など、リアルタイム性があるデータを指すことが多い。IT技術の発展により、これまで処理できなかったデータが活用できるようになった。今後さまざまな場面で、その成果の利用が期待されている。



共同研究先である CENTRIC 株式会社は、国内で初めて AI 活用の感情解析システムをコールセンターに導入した企業



大学院先端科学研究部 (工学系)

ありつぎ まさよし  
有次 正義 教授

専門は、情報学、データベース。大規模データの処理、解析について多くの研究を行っている。

## \ 先生 interview /

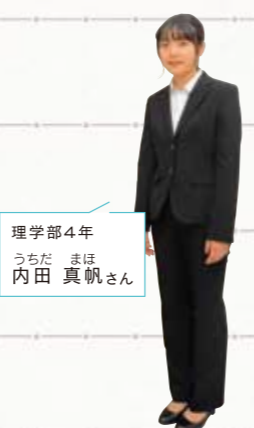
理学部 生物学コース  
北野 健 准教授  
Takeshi Kitano



北野 健 准教授

研究室配属後すぐは、明確なテーマではなく、ざっくりと「魚の研究」で構いません。大切なのは、生き物を観察するという姿勢。技術はすぐに身に付くので、少しずつやっていくうちに、遺伝子と性の関係などが分かってきて、自ら実験に取り組めるようになります。今は就職状況が良いので学部4年で卒業し就職する学生も多いですが、研究は、4年生での卒業発表が終わったくらいが最もおもしろい時。できれば大学院まで進み、研究に3年間は費やし、達成感を得て自信をつけてから社会に出てほしいと思います。

知れば知るほどおもしろい  
生き物の性決定メカニズム  
—生き物が好きなら、誰でもウェルカムです!



理学部4年  
うちだ まほ  
内田 真帆さん

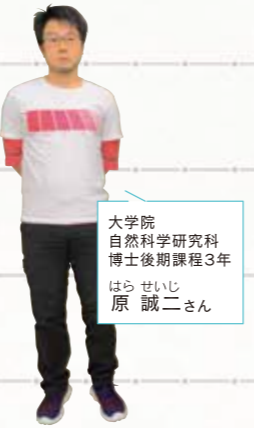
3年生からは研究室が拠点  
先輩たちのお陰ですぐに慣れました

—どんな研究を?

アロマトーゼという、男性ホルモンを女性ホルモンに変化させる触媒のような働きをする酵素が欠損しているメダカが実験対象。欠損することで起こる現象を見て、アロマトーゼや、女性ホルモンの役割について調べています。3年生の授業で、ホルモンが生物の体に大きな影響を与えることを学び、興味深いと思ったことがこの研究室を選んだ理由です。

—今は、どんな毎日ですか?

3年で研究室配属になると、研究室が拠点になります。研究室には院生や技術者の方もいるので最初は戸惑いましたが、先輩が先輩にマンツーマンで丁寧に指導してくれるので、メダカの世話の仕方なども教えてもらう中で慣れていきました。現在は就職活動中。理学とは関係ありませんが、熊本地震の経験から、いざという時に誰かの力になれるような、そんな仕事に就きたいと考えるようになりました。



大学院  
自然科学研究科  
博士後期課程3年  
はら せいじ  
原 誠二さん

北野先生のもとで研究するため  
郷里の福井から熊本へ

—どんな研究を?

魚類は性が揺らぎやすい生物です。外部からの刺激で遺伝とは違う性になる、その現象が興味深いと思ってこの研究を続けています。外部からの刺激が、体内でどう伝達されて性が変わるのか、そのメカニズムを明らかにしたいと考えています。

—なぜこの研究室へ?

福井での大学在籍中は、メダカを使って臓器の発生に関する研究をしていました。性の分野に取り組みたいと思ったのは、古くから生物には性という機構があるのに、その決定のされ方や揺らぎ方は生物によって違うことに興味を持ったから。この分野における北野先生の活躍を知っていたので、熊本に来ました。北野研究室は大人数ではないので、先生が一人ひとりを丁寧に指導してください。研究機器もそろっているんで、最先端の研究ができます。大学では、学問をやる、何かを突き詰めることの楽しさを見つけたいですね。

### 学生が見た!

## 北野研究室 3つの特徴

- 1 研究テーマ**  
発生の途中で水温が上がると性転換するメダカをモデルに、遺伝子レベルでの性決定や、環境の変化による性転換のメカニズムを探っています。
- 2 メンバー**  
自分の時間を有効に使って研究・勉強する人ばかり。みんな優しいです。
- 3 先生**  
面倒見のいい先生!学生の適性をしっかり見て、提案や助言をしてくれます。

## Lab's Data

- 卒論・修論・博論テーマ
  - ・脂肪酸が及ぼすメダカ性分化への影響
  - ・アロマトーゼノックアウトメダカの表現型解析
  - ・プロゲステロン受容体ノックアウトメダカの表現型解析
  - ・コルチゾル誘導機構の解析
  - ・メダカ生殖細胞の培養系の確立
  - ・コルチゾルによるメダカ雄化の子機構の解析
  - ・ウナギ性分化の分子機構の解析
- 就職先
  - ・大阪大学医学部助教
  - ・国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所
  - ・福岡県庁
  - ・熊本県教職員
  - ・アーク・リソース(株)
  - ・(株)アンズコーポレーション
  - ・(株)リョーユーパン
- メンバー
  - ・技術補佐員1名
  - ・博士後期課程3年3名、1年1名
  - ・学部4年生5名



実験用のメダカ。別棟にメダカ部屋があり、たくさんのメダカを育成中



ストレスに応答すると赤く光るように遺伝子組換えしたメダカの顕微鏡写真





NPO 法人熊本マンガミュージアムプロジェクトと連携して収集・保存しているマンガ収蔵庫。全国から希少本も寄贈されている（熊本市中央区）



熊本地震を契機に始まった熊本国際漫画祭。コースの学生も運営に参加する予定



地域のお祭りも研究対象



自分の好きなミュージシャンや音楽ジャンルをテーマにしても



**特集II**  
**新設！**  
**現代文化資源学コース**  
**徹底解剖！**

2019年4月、熊本大学文学部コミュニケーション情報学科に新しいコースが誕生しました。それが「現代文化資源学コース」。現代のさまざまな文化資源について、フィールドワークをもとに「アーカイブ化」することで、文化資源の多面的価値を理解して「価値創造とグローバル発信」することを目指します。2020年度に本格始動する新コースについて、文学部の学生が取材しました！

### 現代文化資源学とは

「今ある有形・無形の文化」を文化資源として再編集する学問

現代文化資源学は、マンガやポップミュージック、演劇、方言など、「今ある文化」をテーマとする新しい学問です。現代文化を収集し、新たな価値を創造する文化資源として編集。新たな価値を創造し、研究成果を国内外へ発信、次世代のために継承することを学びます。

### 現代文化資源学のカリキュラム 学びのステップ

1年次	2年次	3年次	4年次
コミュニケーション情報学科基礎科目スタート (1年次末 コース選択)	現代文化資源学 科目スタート	「課題研究」「演習」などを通して、自己学習。研究テーマ探しスタート	高度な専門知識や技能を身につけながら、卒論作成

(卒業論文テーマ例)

- 「週刊少年ジャンプ」の50年一人気作品の変容ー
- 「刀剣乱舞」聖地巡りと地域社会
- 「ゆい話」ー都市伝説からWeb怪談へー
- やんばる方言の談話資料の分析 など

### 現代文化資源学コースの特徴

私たちが取材しました！

研究テーマが広い！  
文学部コミュニケーション情報学科4年 高山 琳

文化資源を保存し、その価値を発信！  
文学部コミュニケーション情報学科1年 原田 知佳

現場の声、最前線の仕事を体感！  
文学部コミュニケーション情報学科1年 岩本 遥

収集して、発信し活用を目指す

2019年4月に設置された「現代文化資源学コース」は、身近にある文化一般に注目し、考えていくコースです。その柱は大きく2つ。1つは、伝統音楽や方言、伝統文化など、なくなりつつあるものを後世に残すために保存研究する、というもの。もう一つは、マンガやアニメ、ポップミュージックなど、同時代で動いている文化に目を向けるものです。どちらも、関連するものを収集し、観察し、考えることで、新しい魅力、価値を見出し、新しい日本の魅力として、世界に発信できるのではないかと期待しています。

まず、大きな研究の柱

消えゆくものと動いているもの  
2つの文化が研究テーマ

になると考えているのは、マンガに関する研究です。熊本大学では、国と連携してマンガの保存に取り組んでいます。しかし、集めるだけでは文化遺産として不十分。そこで、このコースで活用方法を考え、地域活性につなげたいと考えています。

本コースでは、何をしても受け入れられる土壌を作っています。身近にあるがゆえに気が付かない文化を発掘し、楽しく面白く、学んでいきたいと思います！



みずもと とよのり  
水元 豊文  
文学部長



# 「現代文化資源学コース」の魅力が知りたい！

教えて！先生！

伝統文化を研究する手法で同時代の文化を見る



Q 「現代文化資源学コース」とはどんなコースですか？

児玉…今私たちが当たり前に触れているあらゆる「文化資源」を、分野を絞らず幅広く収集し、後世に残していく手段や方法を検討していくことを目的としているコースです。例えば「言葉」。危機に瀕した言語、方言を含め、インターネット、アクセントなどを収集して研究します。民俗学的手法を使って、フィールドワークで調査したものを保存するやり方もあります。伝統文化を研究する手法を活用しながら、同時代の文化を見

南インドの少数民族の言語史研究が専門。近年は日本語方言アクセント史についても新説を展開中

大学院人文社会科学研究所 (文学系) こだま のぞみ 児玉 望 教授



ていくと、新たな何かが見えてくるかもしれません。

百年後に文化を残すために今あるものを見つめ直す



Q 鍵となる「残していくこと」について詳しく教えてください

鈴木…今は当たり前に身近にあ



インドの伝統儀式での食事の支度。500年受け継がれた文化やコミュニティ言語も危機に瀕している

現代文化資源学コースではどんな講義が行われるのか、担当する先生方に文学部の学生がインタビューしました。

## ゲスト講師は現役編集者！

コースの特徴の一つが外部講師。東京で『月刊コミックゼノン』を発行している出版社コアミックスのグループ会社、熊本コアミックスの持田修一社長もその1人です。九州から漫画家と編集者を輩出すべく、熊本で「まんがラボ」を展開している持田社長に、講義の内容を伺いました！

現役マンガ雑誌編集者から、エンタメ業界最前線を学ぶ

担当する講義では、マンガから端を発する日本のエンタメ業界の最前線を伝えたいと考えています。日々マンガを制作し国内だけでなく世界に広めている出版社だからこそ語れる、日本マンガの魅力、その制作手法、さらにはアニメや実写、ゲームなどに広がっていくライセンスビジネスにもぜひ触れてもらいたいですね。例えば、日本のマンガ制作現場では起承転結の四部構成を基本に、当たり前のようにコマ割りやストーリーを構成していくのですが、海外の作家はこれがなかなかできません。なぜなら海外の人々の大半は、思考のテンポが起承転結ではなく

る文化も、時と共にその姿を消してしまいます。実際に、インターネットや言語といったものの初期の姿や変遷の記録は明確に残されていません。紙になっ



人吉市でのフィールドワークの様子。全国的に数少ない駅弁の立ち売りなども調査対象

で読む時代になっていきますので、その傾向はより強くなっていくと思います。今はそれほど意識していなくても、時代が過ぎていくと、「あのころはどうだったのか」「どのようにして文化が発展していったのか」という疑問が生まれ、「残っていないばよかつたのに」と思うような昔の記録や記憶がたくさんあることに気づきます。今は注目されていなくても、百年後に残っていれば大いに意味のある資料となる可能性があるので。そのため、このコースでは、文化資源の収集、分析整理の方法を学ぶことだけでなく、対象を「客観的に引いて見る」視点も非常に重要になると考えています。そして、文学部の普遍的テー

マである人間とはどういう存在なのかという問いへの答え、そのテーマを考えることにつながるのではないかと思います。自分の好きな文化の価値を後世に伝えよう！



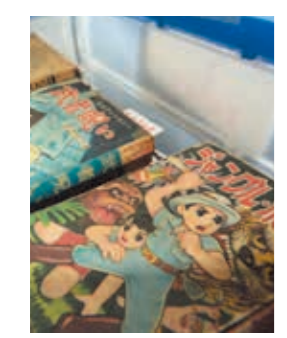
ズバリ！ 現代文化資源学コースの魅力は？

児玉…これまで娯楽とされてきたものや権威とは無縁だった資源の価値付けを自分で行い、コミュニケーションを通じて「これは後世に残すべきだ！」と他人を説得できるようにすることです。新しい価値の創造には、これまで役に立たないとされていたモノに対する自分なりの視点や感性が必要です。自分の好きなものの魅力を、後世に伝えたい、と強く感じている学生を待っています！



大学院人文社会科学研究所 (文学系) すずき ひろゆき 鈴木 寛之 准教授

民俗学・口頭伝承論が専門。熊本市の文化財保護委員会委員も務める。マンガ文化にも造形が深い



特別講師 株式会社熊本コアミックス 代表取締役 もちだ しゅういち 持田 修一 社長



熊本コアミックスが運営する「まんがラボ」。東京の編集部と音声、映像でつながっており、いつでも編集者にマンガの持ち込みが可能

序破急の三部構成だからです。手塚治虫先生をはじめとする先達たちが築き進化したってきた日本のマンガには、こうした特有の文法が明らかに存在し、それは今もマンガ制作の現場に生きています。そんな作り手側の視点から見たマンガやアニメの価値を言語化し体系化する事で、共にマンガ文化の未来を切り拓いていく人材が育ってくれば最高ですね！

## 文 市民の文化的向上に資する博物館 日々、研鑽を重ねています



### 宮原 江梨

Eri MIYAHARA

八代市立博物館未来の森ミュージアム(熊本県)

文学部歴史学科 平成25年3月卒  
大学院社会文化科学研究科  
歴史学研究コース博士前期課程  
平成27年3月修了

平成2年生まれ。熊本県熊本市出身。熊本県立済々黌高等学校卒業。趣味は美味しいものを食べる。

#### 熊大のココがイイ！

充実した環境で学問に取り組むことができる。

#### 高校の授業で知った日本史のおもしろさから文学部を志望

高校時代は具体的な夢はありませんでしたが、大学で専門的な知識を得て、それを活かす職業につきたいと漠然と考えていました。

高校の授業で日本史のおもしろさを知り、オープンキャンパスで歴史学科の模擬授業を受けたことをきっかけに歴史学を学びたいと思い、同学科を志望しました。

#### 研究では、難しさの先に大きな楽しさ

##### 古文書整理のアルバイトも

大学では2年生から日本史研究室に入り、専門的な授業が増え、研究室の仲間と共に日々授業の準備に取り組みました。皆でひとつの結論をまとめたり、自分の研究を進めたり、難しさもありましたが、それ以上に楽しさがありました。特に、古文書を読む授業は日本史専攻ならではの、「日本史を学んでいるのだから卒業までじっくり古文書が読めるようになりたい！」と思い、授業はもちろん古文書整理のアルバイトにも励みました。

#### 大学で学んだことを活かしたと博物館に勤務

大学生活で学んだことを活かせる職業につきたいと思い、現在は学芸員として博物館に勤務しています。幅広い知識が必要なので、難しいことも多くありますが、市民の文化的向上に少しでも寄与できるよう、研鑽に努めています。

## 医 「アミロイドーシス病態解析学分野」 を立ち上げ、予防法と根治療法を研究



### 安東 由喜雄

Yukio ANDO

長崎国際大学  
アミロイドーシス病態解析学分野教授、  
副学長

医学部医学科 昭和58年3月卒  
大学院医学研究科 平成2年3月修了

昭和28年生まれ。大分県別府市出身。大分県立別府鶴見丘高等学校卒業。医学部病態情報解析学分野(検査医学)、神経内科学分野教授歴任。国際アミロイドーシス学会、日本アミロイドーシス学会理事長、エッセイスト、ラジオのパーソナリティーとして月刊誌にコラムと地元ラジオに番組を持ち、本も多数出版している。趣味は夫婦の会話。現在は長崎国際大学アミロイドーシス病態解析学分野教授副学長(令和2年より学長)。

#### 熊大のココがイイ！

なんだかんだと言ってもインターナショナルを目指し、アカデミズムを重視しようとする気風。

#### 難病の治療法解明という夢を抱いた高校時代

高校の頃は、将来医師になり、難病といわれる疾患を研究して治療法を見つけ出したいと思っていました。そのためには医学部に進み、一定期間海外に留学し、研究生活を送りたい、と漠然と考えていました。当時基礎医学の研究がどんなものか全く理解していませんでしたが大きな憧れがあり、大学院生時代、留学生期間を通じてそれを全うできました。

#### 大学時代はラジオ番組のパーソナリティーも担当 多様な人々と出会えた貴重な時間に

本をよく読み、当時熊本に4つもあった名作映画館(1本250円)に通い詰めていました。足かけ5年間、RKK熊本放送でラジオ番組を持ち、パーソナリティーをしていた期間は、医学関係者以外の方に出会う貴重なひとときであったと共に、短時間で人に魅力的な話をするコツを学んだように感じています。

#### 研修医時代に巡り会った疾患がライフワークとなる

研修医の時に巡り会ったアミロイドーシスという疾患がライフワークとなりました。この疾患はアルツハイマー病や老人性アミロイドーシスなどを包含しており、「21世紀の病氣」と位置づけ、我が国初の「アミロイドーシス病態解析学分野」を本学に立ち上げ、この病気の予防法と根治療法の研究を行っています。

## 法 大学では積極的に留学 卒業後、海外とのビジネスを実現



### 坂口 徳一

Norikazu SAKAGUCHI

株式会社ブリヂストン(東京都)

法学部法学科 平成30年3月卒

平成7年生まれ。福岡県大野城市出身。福岡県立筑紫丘高等学校から熊本大学へ。海外での仕事に興味があり、大学で交換留学を経験。現在も新たな目標を模索しながら日々奮闘中。

#### 熊大のココがイイ！

自分次第で学びの幅を広げられること。

#### 夢を定められなかった高校時代

##### まずは、大学で海外に行くことを目標に

高校生の時は自分が何をしたいのか、何に向いているのか分かりませんでした。ただ、高校生までのコミュニティや経験できる範囲は限られていたため、その中で夢を定めることは難しいと考え、もともと海外のTV番組を観ることが好きだった私は、大学で海外に行き、その中で自分のやりたいことを見つけたいと考えていました。

#### アメリカと上海に留学 海外への興味が深まった

大学では1年時に1カ月、アメリカでの研修に参加し、その後、海外への興味がより深くなったこともあり、大学2~3年の時に交換留学生として上海(中国)にある同济大学で中国語を学びました。さらに、帰国後も様々な海外プログラムに参加し、物事の見方を豊かにすることができた大学生活でした。

#### 予想以上に大変な海外とのやり取り 初心を忘れずに努力

学生時代に留学を経験したことで、海外にかかわる仕事をしたと考え、それを軸に就職活動を行いました。その結果、現在の仕事では、海外とのやり取りをほぼ毎日、海外出張も頻繁に行っています。学生の時に憧れを持っていた海外とのビジネスは、実際には予想していた以上に大変ですが、初心を忘れず日々精進しています。

## 薬 ユーザーに薬を届けるという 常に明確な目標がある仕事



### 沖田 剛

Go OKITA

KMバイオロジクス株式会社(熊本県)

薬学部創薬・生命薬科学科 平成26年3月卒  
大学院薬学教育部博士前期課程 平成28年3月修了

平成2年生まれ。福岡県福岡市出身。福岡大学附属大濠高等学校卒業。趣味はゴルフ、わいわい飲み会、読書(ビジネス書)。

#### 熊大のココがイイ！

将来九州県内で働きたい人、グローバルに働きたい人、どちらの夢もかなえられるカリキュラムがあること。

#### 幼少期から薬に助けられ、高校時代には製薬会社を志望

高校の頃の夢は「九州で、マイホームで家族と幸せに暮らすこと」。仕事に関しては、幼少から頭痛持ちで日ごろから「薬」に助けられていたことから製薬会社に勤めたいと思っていました。そこで、薬学部へ入学し、大学院修了後にKMバイオロジクス(当時は化学及血清療法研究所)で働く未来を描いていました。

#### 24時間活動していた大学時代 行動力は社会人になっても生きる

部活、勉強、研究、遊び、飲み会すべてに全力で取り組みました。例えば、野球朝練→午前授業→昼スポーツ→午後授業→夕夜研究→朝までボウリング→朝から論文紹介セミナーと、朝から翌朝まで常に何かをしている生活でした。人生の中で最も自分がやりたいことができるのが大学生活。行動力は社会に出た時に生きると思って活動していました。

#### やりたい仕事を楽しくできる環境に身を置ける幸せを感じて

現在は、製薬会社の研究部で仕事をしています。ユーザーに薬を届けるという最終目標が明確なので、困難な時もモチベーションを高く持つことができます。目標実現のための自分の役割は何なのかを常に考えて、仕事をこなすように心がけています。働く時間は人生の大部分を占めるので、楽しく仕事ができる環境にいられることに感謝しています。

## 工 半導体の性能に大きく影響する ゴミを減らす評価・研究が仕事



### 大塚 幸貴広

Yukihiro OTSUKA

東京エレクトロン九州株式会社(熊本県)

工学部物質生命化学科 平成28年3月卒  
大学院自然科学研究科博士前期課程物質生命化学専攻  
平成30年3月修了

平成5年生まれ。熊本県益城町出身。熊本県立第二高等学校卒業。小学生の頃からサッカーをしており、今は会社のサッカー部に所属。汗をかくことのできる貴重な機会です。

#### 熊大のココがイイ！

人、環境、立地すべてが良いところ。学生が行きやすい飲食店が近いのも素敵です。

#### 幅広く学ぶため、工学部の化学を扱う学科に進学

化学が好きだったため、漠然と、化学関係の仕事につきたいと考えていました。無機、有機が特に好きでしたが、幅広く化学を学びたいという思いもあったため、理学部ではなく、工学部の物質生命化学科に進学を決めました。

#### サッカー部に所属 今でも大切な仲間と出会えた

大学の学部時代は部活を中心にした日々でした。私が所属していたサッカー部は週に6日間の練習で、講義が終わった後すぐ練習に行っていました。忙しい毎日でしたが、別の学部の友人も多くでき、充実した大学生活を送ることができたと思います。友人たちとは卒業後も連絡を取り合っており、今では、大切な出会いになったと感じています。

#### 入社2年目まだ毎日が勉強

半導体は今、あらゆる電子機器に用いられており、東京エレクトロンはその半導体を作るための装置を製造している会社です。半導体では、ナノスケールのゴミでさえ性能に大きく影響してくるため、そのゴミをいかに減らしていくかについて、日々評価・研究を行っています。しかしまだ入社2年目。毎日が勉強だと思っています。



本学の卒業生たちの今に迫る「卒業生ジャーナル」。

熊本県内はもとより、国内外で活躍している

先輩たちの様子を、これまでの歩みや苦勞、

そして喜び、楽しみなどを通じてご紹介します。

## 教 近い将来、ともに社会を築く 高校生と向き合う喜びを感じて



### 古川 かおり

Kaori FURUKAWA

熊本市立必由館高等学校 教諭

教育学部中学校教員養成課程音楽科 平成15年3月卒  
大学院教育学研究科 平成17年3月修了

昭和55年生まれ。熊本市出身。真和高等学校卒業。熊本大学教育学部、大学院を修了後、天草市立本渡中学校、熊本市立電南中学校での勤務を経て、現任教へ。合唱を通した仲間作りと、キャリア教育に力を入れています。

#### 熊大のココがイイ！

専門分野が違う人たちとの出会いが、自分の幅を広げてくれる！

#### 小さい頃からの多くの出会いが自己形成に大きな影響を与えた

高校時代は、「人に影響を与える仕事」をしたいと思っていました。歌やピアノ、日本舞踊など、小さい頃から続けていた習い事の中で、たくさんの人に出会い、その出会いが自分自身の人間形成に大きく影響していたことを実感したのが高校時代です。音楽をもっと学びたいという気持ちと重なり、教育学部の受験を決めました。

#### 後輩たちと、施設や学校で音楽を通したボランティア活動

大学では、音楽棟で聴こえてくる先輩方の演奏に刺激を受けながら、声楽やピアノの練習、音楽を通したボランティア活動に力を入れていました。後輩たちとグループを作って、様々な施設や学校などへ行き、ミニコンサートを行ったり、音楽療法の勉強をして音を媒体としたコミュニケーションを大切にしたい活動を工夫したりすることが楽しみでした。

#### 大きな「価値」と「責任」を感じる、教育現場の仕事

12年間の中学校勤務を経て、高等学校へ転任しました。「安定」というイメージがある公務員ですが、教育の現場を含めたその仕事には、「安定」以上に「価値」や「責任」があると感じます。夢に近づいていく高校生との出会いの中で、近い将来、一緒に社会を築いていく彼らと向き合うことを楽しんでいます。

**INFO** 令和元年度熊本大学  
オープンキャンパス

各学部の説明会や研究室・施設等の見学、インターネット出願体験及び在学生による企画等を実施します。

- 【開催日時・場所】  
8月3日(土) 黒髪キャンパス(文・教育・法・理・工学部)  
8月9日(金) 本荘、大江キャンパス(医・薬学部)
- 【参加対象者】  
高校生(2年生以上のみ参加可の企画有り)・保護者等
- 【申込方法】  
個人による事前申込みは不要。  
団体バスによる参加については、本学HPよりお申し込みください。  
申込み多数の場合、バスによる入構をお断りする場合があります。
- 【参加費】 無料
- 【問い合わせ先】  
熊本大学学生支援部入試課  
TEL:096-342-2146  
E-Mail:nyushi@jimu.kumamoto-u.ac.jp
- 【URL】  
<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/daigakuannai/opencampus>



**INFO** ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～

大学や研究機関で「科研費」により行われている最先端の研究成果に、高校生の皆さんが直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。

- 【参加費】 無料
- 【URL】 日本学術振興会ホームページ <https://www.jsps.go.jp/hirameki/>



プログラム	開催日時場所	対象者	申込方法		申込締切
			Web申込	本学へ直接申込/問い合わせ先	
葉っぱの表面はジグソーパズル? : 植物細胞が織り成す デザインについて考えよう	8月3日(土) 黒髪南キャンパス 共用棟黒髪2	高校生10名	日本学術振興会 HPの「プログラ ムの申込みはこ ちらから」→ 「実施プログラ ム一覧」の参加 申込をクリック して、必要事項 を入力	桧垣 匠 TEL:096-342-3975 FAX:096-342-3975 thigaki@kumamoto-u.ac.jp ※定員を超えた場合は抽選	7月22日(月)
がん検診って知ってる? がんの早期発見のために できることについて考えよう	8月11日(日) 本荘南地区(九品寺キャン パス) 保健学科	高校生20名		小濱京子 TEL:096-373-5563 FAX:096-373-5563 obamak@kumamoto-u.ac.jp ※先着順	7月12日(金)
いろんな細胞みつけた。 細胞から体の仕組みを考えよう!	11月2日(土) 黒髪北キャンパス 教育学部東教室	高校生30名		長谷 真 TEL:096-342-2935 FAX:096-342-2942 mhase@educ.kumamoto-u.ac.jp ※先着順	10月25日(金)

**REPORT** 八代まるごと自然体験  
「シギ・チドリ観察会」を開催しました

4月14日(日)に、くまもと水循環・減災研究教育センターは球磨川河口干潟において「シギ・チドリ観察会」を開催しました。地球を旅する渡り鳥であるシギ・チドリ類が河口で休憩・採餌の様子を観察したり、撮影したりしました。小学生から大学生までの学生も含めて19名の参加があり、32種ほどの野鳥を観察することができました。初めての参加者はハマシギやダイゼンなどの野鳥を実際に見て感激した様子でした。観察会終了後、参加者全員でゴミ拾いを行い、30分弱で大きなゴミ袋10枚がいっぱいになりました。球磨川河口干潟のラムサール条約登録湿地に向けて、海岸・干潟は野鳥が生育する大切な場所であること、ゴミを捨てないことが鳥との共生の一つであることを観察会を通して学ぶ大変良い機会となりました。



**REPORT** NHK学生ロボコン2019で  
特別賞を受賞しました

5月26日(日)に東京で開催された「NHK学生ロボコン2019~ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会~」に、熊本大学工学部公認サークル「からくりサークル」が出場しました。リーダーである工学部4年の宮村直希さんは、開会式における選手宣誓も務めました。予選リーグFグループで、第1試合の京都工芸繊維大学に勝利、第2試合の東京大学に敗退し、残念ながら決勝トーナメント進出は逃したものの、ロボットのユニークさが評価され、決勝戦前に東京農工大学とのエキシビションマッチが行われるとともに、パナソニックシステムソリューションズから特別賞を、NHK から奨励賞を授与されるという喜ばしい結果となりました。大会の様子は、NHK 総合テレビで 7月15日(月・祝)に放送予定です。



**REPORT** 荒尾市の万田坑で  
謎解きイベントを開催しました

文学部の松浦雄介教授のゼミでは、荒尾市および福岡大学福岡・東アジア・地域共生研究所と連携し、同市にある世界遺産「三池炭鉱万田坑」の新たな活用方法について検討してきました。その一環として、学生たちによるイベント企画「夜の炭鉱 万田坑のナゾをとけ!」を4月27日(土)に実施しました。本イベントは、夜に万田坑の敷地内をまわりながら炭鉱に関連したクイズを解くアクティビティで、炭鉱について楽しみながら学び、世界遺産の場所に親しむことで、子どもたちの地域への関心を高めることを狙いとしています。当日は、小学生48人が参加し、生き生きとした笑顔でイベントを楽しんでいました。



**REPORT** 「産業イノベーションラボラトリー」  
開所記念式典を行いました

5月21日(火)に、大江キャンパスにおいて「産業イノベーションラボラトリー」の開所記念式典を行いました。本施設は、文部科学省の平成28年度補正予算「地域科学技術実証拠点整備事業」、平成29年度「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム事業」に採択されたことに伴い建設したものです。原田信志学長の挨拶の後、蒲島郁夫 熊本県知事の挨拶の際には熊本県 PRキャラクターくまモンも登場し、会場を盛り上げました。その後、文部科学省の角田喜彦 科学技術・学術総括官から来賓祝辞をいただき、くまモンを交えた7名でテープカットを行いました。今後、全学的に利用可能な運用を図り、広く「地方創生活動」及び「産学連携活動」に取り組んでいきます。



**REPORT** シンポジウム「熊本地震による赤れんが  
建造物の被害と復旧」を開催しました

五高記念館は、3月2日(土)にシンポジウム「熊本地震による赤れんが建造物の被害と復旧」を開催しました。午前には、文化財建造物修理の専門家や報道関係者など約50名が参加し、熊本地震被災後初めてとなる現場視察会を行いました。参加者は、五高記念館の復旧工事の現状や、新たに発見された建設当初の黒板などについて説明を受けました。午後のシンポジウムには85名が参加し、小山工業高等専門学校名誉教授 河東義之氏による基調講演「東日本大震災における煉瓦造建造物の被災と修理・活用」に続いて、文化財建造物保存技術協会 高橋好夫氏、熊本大学施設管理課 本田護氏から具体的な被害状況、工事方法、進捗について報告された後、活発な意見交換が行われました。五高記念館では、今後も文化財建造物等の地震被害と復旧等に関するシンポジウムを開催する予定です。



## 熊本大学基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

No.46（平成31年2月1日～平成31年4月30日）

卒業生の皆様、在学生の保護者の皆様、法人・団体等の皆様、本学の退職者及び教職員の皆様から、これまでに約14億1619万円（平成31年4月30日現在）のご寄附をいただき、研究・教育に資する事業に取り組みさせていただきました。また、熊本地震復興事業基金へお寄せいただきました寄附金は、熊本大学の復興に向けて、被害学生に対する修学支援や被災しました建物の修繕費、設備・機器の更新・修理費のために、大切に活用させていただきます。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

今号では、平成31年2月1日から平成31年4月30日までの間に入金を確認させていただきました個人151名、12法人・団体等の寄附者すべての皆様へ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。公開を希望されない寄附者の皆様につきましては、掲載しておりません。

また、万一お名前に記載漏れがある場合は、誠に恐縮ではございますが、基金事務局（電話：096-342-2029）までご連絡ください。皆様の更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 1. お名前・寄付金額の掲載

（寄附金額別、五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。） ※（ ）内の数字は、累計寄附金額（万円）です。

#### <熊本大学基金>

【100万円】 青木 敬（100） 上田 京二（1200） 一般財団法人化学及血清療法研究所（1億2100） 熊杏会（600）

【10万円】 熊本漢方研究会（20）

【7万1千円】 熊本県女性薬剤師会（22.3）

【5万円以下】 大塚 千恵子（3） 櫻井 貴浩（1） 村上 健太郎（12） 牧野 三男（5） 本島 昭男（22）  
熊本大学大分県職員同窓会（4.7）

### 2. お名前のみ掲載

（五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。） ※[ ]内の数字は、累計寄附回数（回目）です。

#### <熊本大学基金>

間 智子	青木 昭子	青木 宏允	荒井 澄子 [6]	位寄 和久 [2]	石津 貴之	井手 栄治	伊東 龍一
伊藤 良蔵	今井 博昭 [12]	岩尾 一寛	岩切 克憲	上田 敦子	上田 博	内田 淳一	浦川 治久
江口 城生 [3]	梶 修一郎 [6]	禿 利英子	川口 叫	神崎 芳郎 [7]	木村 純久 [6]	草野 龍二 [13]	久保 直子
後藤 重男 [2]	坂田 満生 [14]	重浦 睦治 [2]	柴山 佳夫 [9]	下中村 武 [4]	新屋 一雄 [2]	田中 千恵子	殿村 高平
永田 健次	永田 知己	中村 栄男 [2]	中村 慶広	野口 健一郎・恭子 [2]		野中 周太郎	波多野 恭行 [16]
林 浩也	原口 行雄 [3]	東 大弼 [5]	平田 満栄	平山 謙二郎 [2]	藤江 浩子	堀之内 広	増村 隆之 [2]
松田 亨 [5]	松平 嘉明 [7]	宮永 道明	宮本 麗子	安永 澄男 [2]	吉海 祥一	米原 範雄	米村 蔵
米村 弘	渡辺 清吉 [3]	株式会社再春館製薬所 [4]		熊本大学薬学部第67回卒業生一同		K Mバイオロジクス株式会社	

#### <熊本地震復興事業基金>

佐藤 正哉 [4] 紫熊祭実行委員会 [3]

### 3. お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人81名、3法人・団体等

## REPORT 第8回熊本大学東京連合同窓会を開催しました

5月18日(土)、第8回熊本大学東京連合同窓会(二木幸男会長)を、東京ガーデンパレス(東京都文京区)において開催しました。今回は、関東地区の同窓生など約160名が参加しました。

当日は、前半に総会・講演会、後半に交流会を行い、総会・講演会では、二木会長、二塚信 熊本大学同窓会連合会会長による挨拶の後、来賓紹介、平成30年度の卒業生表彰受賞者紹介、役員等紹介を行いました。

講演会では、原田信志学長から「熊本地震後の熊本大学キャンパスの整備計画～五高記念館を中心として～」と題した基調講演、熊本市経済観光局熊本城総合事務所 城戸秀一様から「熊本城の地震被害と復旧状況について」と題した特別講演、松本泰道理事から「同窓生の皆様方へのお願い」として講演が行われました。

交流会では、児倉静二 関西連合同窓会会長、安田宏正 九州連合同窓会会長及び前田隆 熊本県東京事務所次長から祝辞が述べられた後、江口工 東京連合同窓会顧問の発声で乾杯が行われ、参加者は賑やかに世代や学部を超えた交流を楽しみました。

会の終盤では、現役学生である中村あゆみ応援団団長と団員による"巻頭言"及び"五高寮歌"が披露され、閉会に際しては、瀬崎徳久 東京連合同窓会副会長から挨拶があり謝意が述べられ、盛況のうちに会は終了となりました。



特別講演をする城戸秀一様

INFO

## 熊本大学市民講座2019 「八代まるごと自然体験」

八代市で「熊本大学市民講座2019」を開催します。詳しくは、それぞれの問い合わせ先までお願いします。

### ●くま川水浴場

球磨川河川敷スポーツ公園に隣した球磨川水浴場で、川の安全教室（溺れた時の救い方、救われ方）を学んだ後、親子で思いっきり球磨川で遊び、泳ぐ企画です。（小雨決行）

【開催日時】8月8日（木）9:00～12:00

【場所】球磨川河川敷スポーツ公園左岸

【参加費】無料

【問い合わせ先】次世代のためにがんばる会（担当：松浦）  
TEL:080-5253-5081

【URL】http://ganbarokai.jp/

### ●水生生物観察会

「川」にしみながら環境への関心を深めることを目的に、バックテスによる水質調査や底生生物の調査をします。

【開催日時】8月9日（金）10:00～12:00

【場所】水無川（ほたるの里公園）

【参加費】無料

【問い合わせ先】八代市環境課  
TEL:0965-33-4114

### ●実習調査船「ドルフィン・スーパーチャレンジャー」で行く

八代港⇄天草（熊本大学合津マリンステーション）往復見学コース  
熊本大学が所有する実習調査船で八代港を出発し、八代のまちや天草の島々を見学しながら、上天草市松島町にある熊本大学の合津マリンステーションへ向かいます。到着後、施設などを見学し、八代港へ戻ります。

【定員】20名（先着順）

※8月中旬以降募集開始

※15歳以上が対象、60歳以上の方を優先

【開催日時】10月3日（木）13:00～15:30

【集合場所】八代港フェリー待合室

【参加費】一人300円（保険料など）

※観察会当日、乗船前に徴収します。

【問い合わせ先】八代市環境課

TEL:0965-33-4114

INFO

## 荒尾干潟での展示型イベント「宝汐館」

文学部の松浦雄介教授のゼミ学生が、荒尾市環境保全課との協働により、ラムサール条約湿地・荒尾干潟についての啓発を目的とした参加型イベントを企画・実施します。

【開催日】9月または10月

【場所】荒尾干潟(熊本県荒尾市)

【参加費】無料・要申込

【問い合わせ先】宝汐館実行委員会

housekikan.project@gmail.com

### ●八代共同魚市場を見学しよう

八代共同魚市場で「せり」を見学した後、市場の方から、魚市場や八代海の魚介類についての話を聞きます。

【定員】30名

【開催日時】10月19日（土）6:00～9:00

【場所】八代共同魚市場

【参加費】無料

【問い合わせ先】熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター（担当：逸見）

TEL:096-342-3498

### ●球磨川子供ごみパトロール

ごみが与える川・海、そして人間への影響を、実際に排水機場見学・水処理場見学をして学び、河川敷のごみを拾い・調べ、分別することで、河川保護活動への意識を高める企画です。

【開催日時】9月上旬と10月下旬

【場所】大碓排水機場・水処理センター・球磨川河川敷

【参加費】無料

【問い合わせ先】次世代のためにがんばる会（担当：松浦）

TEL:080-5253-5081

【URL】http://ganbarokai.jp/



# 知の至宝

## 校長嘉納治五郎と五高生

嘉納治五郎は、五高時代について「学生も少なかったのが当時の学生とは存外に親しい」と自伝に記している。

1892(明治25)年の第1回卒業生藤本充安<sup>じゅうあん</sup>は、両親が大学進学を許してくれるか心配していたところ、有為の人材であるから是非大学に進学させてやって欲しいという嘉納校長の手紙が直接父親宛に届き、感激した父は何の躊躇もなく、自分を大学に進学させる決心をしたとして、校長の思いやりに深く感謝したと記している。

また、父が早世し苦学していた村川堅固<sup>けんこ</sup>(1895(明治28)年卒)は、嘉納が文部省の学務課長を務めていた時期に、大学院に通う学費を慮った嘉納の計らいで文部省嘱託となり、秘書として嘉納を支えた。また、ドイツに留学する際には、嘉納夫妻が、わざわざ横浜港まで出向いて見送ったといい、生涯にわたって父のように慕っていた。

威厳を湛えた外見とは違い、生徒一人一人の状況に配慮する校長嘉納治五郎は、在任期間の短さにもかかわらず、未永く多くの五高生たちに慕われた。

文 藤本秀子(五高記念館)

### 藤本充安

内務省官僚として各地の県参事官や内務部長として勤務し、退官後高松市長を務めた。

### 村川堅固

東京帝国大学教授 我が国における西洋史学の礎といわれ、西洋史学の確立に貢献した。



開校50周年の式典に来賓として訪れ、記念講演を行った際の嘉納治五郎(五高記念館所蔵)

※五高記念館(国指定重要文化財)は、熊本地震による被害のため長期休館中です。